

JALC（教育研修事業部）主催

第4回「母乳育児支援基礎セミナーのためのファシリテーションを学ぶワークショップ」のご案内

教育研修事業部では『UNICEF/WHO 赤ちゃんとお母さんにやさしい母乳育児支援ガイド ベーシックコース－母乳育児成功のための10カ条の実践－』（医学書院）のプログラムに基づいた母乳育児支援基礎セミナーのファシリテーションを学ぶためのワークショップを2016年から開催しています。

第3回の東京に引き続いて4回目を企画しました。今回の開催場所は昨年ABCでのアンケート結果から、東京開催の希望が多かったため国立成育医療研究センターをお借りして開催します。東京オリンピックの波に乗って是非とも母乳育児支援セミナーのファシリテーションと一緒に学んでみませんか？

母乳育児支援基礎セミナーやファシリテーターについての教育研修事業部のスタンスを末尾に記載していますので、併せてお読みになりご理解の上参加をご検討ください。

#### 【ワークショップの目的】

基礎セミナーのファシリテーションを通して、IBCLCとしての情報提供のスキルや倫理について理解を深める。

#### 【ワークショップの学習目標】

1. 母乳育児支援ガイド ベーシックコースのテキストの基本的構成がわかる。
2. セッションのプログラムをデザインできる。
3. ファシリテーション・スキルを使って、セッションを展開できる。
4. グループダイナミクスの効果を体験する。

#### 【受講対象となる方】

- ・ これから母乳育児支援基礎セミナーのファシリテーションをやってみたい方
- ・ 現在母乳育児支援基礎セミナーのファシリテーターをしていて、さらにそのファシリテーション・スキルを向上させたい方

学習効果を最大限に得るために、テキストのコンテンツであるBFHIを事前に理解した上での参加をお奨めします。

具体的には、

\*JALCのIBCLC会員である。

\*全日程の参加が可能である。

\*基礎セミナー20時間コースの受講経験がある、もしくはファシリテーターの経験がある。

#### 【日程】3日間

2020年5月24日（日） 10：00－17：30

6月27日（土） 10：00－18：30

6月28日（日） 8：30－16：00

**【ワークショップ担当ファシリテーター】**

山口直人、多田香苗、大坪三保子、朝倉真理子、中園瑞枝

**【会場】**

国立成育医療研究センター

<https://www.ncchd.go.jp/>

\*会場へのお問い合わせはご遠慮ください

**【参加費】**

60000 円（税込）

参加者が限られているため、入金後のキャンセルの場合、参加費の返却は出来ません。代理の方の参加は可能です。

**【募集人数】**

18 名（最少開催人数 12 名）

**【お申し込み方法】**

<一次募集>

\*申し込み期間 2月14日（金）10時から3月6日（金）10時まで、[JALCSHOP](#)より。

\*定員に達した場合は、事前の予告なく申込受付を終了する場合がございますので、あらかじめご了承ください。

\*お支払いはクレジットカードのみです。

クレジットカード以外の決済をご希望される場合は お申込みされる前に [JALCSHOP](#) のお問い合わせフォームからご連絡ください。

\*申し込みが正常に完了すると「ご注文ありがとうございました」の自動返信メールが送信されます。メールが届かない場合も、[JALCSHOP](#) のお問い合わせフォームからご連絡ください。

**【申し込み時に必要な情報】**

1. お名前のおアルファベット表記
2. IBCLC の初回認定年度
3. ご所属（勤務施設名）
4. 職種
5. JALC 会員番号

※電話番号、メールアドレスは常時連絡が取れるものを入力してください。

（携帯の場合は PC からの受信が可能な設定にしてくださいようお願いいたします）

※ご参加が確定しましたら、当日のご案内をメールにてお送りいたしますので、メールを必ずご確認ください。また、開催日が近づきましたら資料ダウンロードのご案内をいたしますのでこちらもご確認ください。

※資料はPDFファイルをダウンロードしていただきます。容量の大きい資料の閲覧が可能なPCもしくはタブレット端末をご準備いただくとスムーズです。紙での配布はありません。

#### 【継続教育単位】

ラクテーション・コンサルタント資格試験国際評議会へ申請予定

---

母乳育児支援基礎セミナーのファシリテーターを担当される方へ  
教育研修事業部では下記のご案内をしています

---

1. WHO/UNICEF 母乳育児支援ガイドのプログラムに基づいた母乳育児支援基礎セミナーのファシリテーションを経験することは、「IBCLCの業務範囲」および「JALCのミッション」を実践するという目的にかなうとともに、IBCLCとしてのスキルアップと位置づけています。
2. 教育研修事業部は、母乳育児支援基礎セミナーをファシリテーションするための学習の場を提供していますが、ファシリテーターの養成や認定をするものではありません。
3. 母乳育児支援基礎セミナーのファシリテーションはどなたでも実施可能ですが、教育研修事業部ではIBCLC会員に対して以下のようなスキルアップのための手順を推奨しています。
  - (1) 初めてファシリテーションを担当するにあたっては、このワークショップおよび別途コミュニケーション・スキルやカウンセリング・スキルの講習に参加して基礎的学習を行っている。
  - (2) 「IBCLCのための研修会」に参加する。
  - (3) 定期的にJALC主催学習会やABCに参加している。

#### 【お問い合わせQ&A】

Q：基礎セミをすぐに開催するわけではないけど参加できますか？

A：はい、大丈夫です。

どうやって開催するのか、もしくは学んでみてから今後の活動に参考にされるかたもあります。

Q：毎年開催されますか？

A：事業部として年間計画の上で検討しております。

Q:継続教育単位について

全てのプログラム参加で11.25L-CERPs & 6.5R-CERPs になります。

Q：IBCLCとしてのスキルアップにつながりますか？

A: これまでの参加者のご感想には模擬クラスの実践やディスカッションをするなかで母乳育児支援の学びが深まった。ベーシックの内容の構成や組立の全体像を知ることによって実践への展開がより具体的につかめてきたなどのご感想をいただいています。

以下参加者のご感想です。

(ア) 相手をひきつける構成力の大切さと、心地よさを参加者に与えること。伝える、聴く、うなづく、それらはメリハリをつけることで人の心やモチベーションを動かす力になることを様々なシーンで実感した。

(イ) 参加者全体の状況を見て、臨機応変にアイスブレイクを入れたり、最初のつかみの部分で参加者を引き込んだりと、アイデアを学ぶことができた。

(ウ) フィードバックを行ったことで、改めて自分の課題や学び、できたことなどを確認することができた。基礎セミの構成や、肝、参加型…等について理解し実施することができたので、今後チャレンジしていきたい。

(エ) グループダイナミクス、個人では味わえない醍醐味だと思った。一人でできないことも、グループ、皆と一緒に考えれば道が拓けることを再認識した。一人ではできなかったことが、3人で創りあげ、形になって達成感があった。

(オ) ファシリテーターとしてどこを目標にするのか、参加者！！自分ではない！本当にそう思いました。参加者を大切にすると参加者がお母さんを大切にできると確信できた。エンディングの参加者の先に母児がいるような基礎セミをすることが今後の目標です。